第 56 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 10 月 18 日 (月) 午後 4 時 30 分から午後 4 時 45 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局副局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、最近の感染状況等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知 事】

- ・まずは、この間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から感謝を申し上げます。
- ・京都府内の緊急事態宣言は、9 月 30 日をもって解除されました。10 月 1 日からの感染リスクを低減するための取組においては、府民、事業者の皆様、外出自粛、飲食時等の行動、飲食店における営業時間短縮の要請等、様々な御負担をおかけしています。御協力に対しましても、心から感謝を申し上げます。
- ・1 日当たりの新規感染者数は、8 月 26 日に過去最多の 601 人、病床使用率も、8 月 30 日には 82.7% まで上昇しました。医療の現場からは、災害級の危機に直面していると切実な声が上がっていました。
- ・多くの皆様の御協力により、現在は、病床使用率を含む国分科会の基準の全指標でステージ 2 相当以下まで改善しています。
- ・本日の京都府の新規感染者数は 2 人、7 日間移動平均は 10.29 人、前週比も 0.47 倍です。当然、ウイルスがなくなったわけではなく、感染状況は続いていると思っています。引き続き、感染防止対策の徹底が必要だと思っています。
- ・本日はこうした状況を踏まえ、今後の対応について、議論したいと思っています。
- ・まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・続きまして、今後の取組について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料2に基づき説明

【知 事】

- ・続きまして、新型コロナワクチン接種の推進について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料3に基づき説明

【知 事】

- ・ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくをお願いします。

【専門家会議議長】

- ・新規感染者数が、我々の予想をはるかに上回るスピードで減少しました。ほぼ、第5波は乗り切ったと言っていると思います。これは、府民の皆様の感染防止の取組と、ワクチン接種への御協力の賜物であると考えています。
- ・今後も、ワクチン接種をさらに進めると同時に、一人ひとりの感染防止の取組を継続いただきたいと思っています。経済活動、社会活動が再開すれば、感染防止対策をしなくていいということではありません。しっかりとお願いしたいと思っています。
- ・今後、第6波が来るのか、また、どのような形で来るのかは、まだ予想がつかない状況です。第6波は、第5波以上の感染拡大があることを想定し、医療体制のさらなる充実を図っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

【知 事】

- ・様々な行動制限が徐々に緩和されますが、基本的な感染防止対策が不要ということではありません。そのあたり、粘り強く働きかけをしていきたいと思っています。
- ・次に、京都市の三科危機管理監から、よろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

- ・時短や酒類提供の制限がなくなるのは、待ち望んだ、喜ばしい状況ですが、日常の基本的な感染対策を緩めるものではありません。この点、しっかりと周知をしていきたいと思っています。
- ・また、京都市としても、いつ、どのような形で第6波が来るのか、非常に危機感を持っています。速やかに、臨戦態勢へと切り替えることが一番大事であり、京都市も全庁をあげて健闘しています。
- ・そういった体制を構築し、感染者の相談、経過観察や疫学調査といった保健所業務を、万が一の時に滞りなく行えるよう、準備を進めていきたいと思っています。
- ・また、入院や宿泊療養、治療においては、京都府との連携を改めて強化し、来るべき第6波に向

けて連携を密にしていきたいと思っています。以上です。

【知 事】

- ・第6波への備えは、感染が落ち着いたからこそ、しっかりできると思っています。いざとなったときに保健所が機能するよう、第6波の備えの時から、様々な面で京都市と連携し、準備をしていきたいと思います。引き続き、よろしくお願いします。
- ・その他、御意見等がなければ、事務局案によって、10月22日からの取組を決定させていただきます。
- ・他に、各部局からの報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。
- ・第5波については、一定乗り切ったと評価できると思います。府民、事業者の皆様、医療機関の皆様に御協力いただき、医療提供体制を拡充し、なんとか乗り切ることができました。また、市町村、関係機関の御協力によるワクチン接種の推進も、大きな力になったと思います。改めて、全ての御協力をいただいた皆様に、感謝を申し上げます。
- ・今後、感染防止対策と社会経済活動の両立に向けた取組を、段階的に進めていくことになります。今もウイルスが市中にいることを前提に、日常生活の一部として、基本的な感染防止対策をしっかりとしていただきたいと思います。
- ・また、第6波はどうなるか分かりません。常に警戒を怠ることなく、第6波に向けた準備を進めていくことも重要だと思っています。そのために、私から2点お願いしたいと思っています。
- ・1点目は、本日決定した10月22日以降の取組について、確実に実施していただけるように、府民、事業者の皆様、市町村、関係団体等に幅広く周知をしてください。
- ・2点目は、現在、保健・医療提供体制確保計画を策定中です。感染が落ち着いている今だからこそ、病床確保、治療を含めた医療提供体制の拡充、宿泊療養・自宅療養の方の健康観察等の体制の整備、ワクチン接種のさらなる推進等、次の感染拡大への備えとして、やっておくべきことが多々あります。万全の備えをお願いします。私からは以上です。

【危機管理監】

- ・関係の部局長におかれましては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。
- ・松井議長、三科危機管理監におかれましては、お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・以上をもって、対策本部会議を終了します。